

今回も大好評・大成功！

第6回夏の学校 in 長崎終了

西山文庫主催の夏の学校は9月14日～16日、長崎で「エキゾチックタウン長崎の不思議を解き明かす」をテーマに開催され、全国から約50名の学生・院生と約10名の教員が参加しました。参加大学は、長崎総合科学大学、広島国際大学、神戸大学、兵庫県立大学、神戸女子大学、神戸松蔭女学院短期大学、近畿大学、平安女学院大学、福井大学、名城大学、都留文科大学、東洋大学、筑波大学などです。

これまでのソウルや那覇にくらべると地味な企画にみえたのか、「高校の修学旅行で行った」ためか、参加者は大幅に少なくなりました。けれどもその分意欲に満ちた学生が多く参加し、受身に終わらず積極的な取り組み姿勢が見られ、密度の高い学校となりました。そして長崎という町のもつ多面的な魅力も参加学生の好奇心と食欲をかきたてたと思います。その中でも斜面居住地という観光で訪れたのでは知ることのできない長崎の特徴に焦点をあてたプログラム企画も効を奏したといえるでしょう。

もちろん、鮫島先生（長崎総合科学大学）の



<講義を熱心に聴く>

周到で的確な準備と資料、それを支えた鮫島ゼミの学生諸君の努力があったればこそです。本当にありがとうございました。

今年は台風の当たり年で、去年の那覇では台風直撃の中で悪戦苦闘したことから今年も心配されましたが、理事長と夏の学校長の人徳のせいか天候に恵まれ、逆に暑さとの闘いになりました。

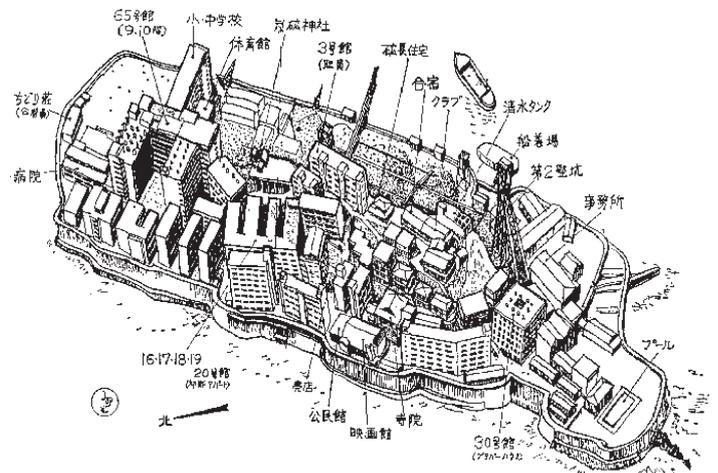
<プログラム>

■1日目 9月14日（火）

午前中はオプションで、西山卯三『日本のすまい』でもとりあげられた「軍艦島」めぐり。学生たちが生まれるずっと以前の、炭鉱労働者の世界でも有数の超高密居住地であり、産業遺産ですが、青い空青い海の中に忽然と現れたその廃墟の姿は十分衝撃的でした。『日本のすまい』を読んでいた教員にとっても「これが軍艦島

もくじ

第6回夏の学校 in 長崎終了	松本 滋	1
夏の学校で活性化したゼミ	鮫島和夫	2
教員初のプレゼンテーションの試み	前田昭彦	5
トピックス / 最近のスウェーデンの 高齢者ケア事情	田中智子	7
フォーラム / 木の文化で都市の再生は可能か	刈谷勇雅、藤本昌也	10
西山先生と私 / 途上国学生に「住み方調査」の エッセンスを教えたこと	鳴海邦碩	14
西山文庫にゲストをお迎えして	三村浩史	16
西山文庫参観記	横山篤夫	17
個人記念館 / 真野まちづくり バーチャル・ミュージアム	宮西悠司	19



<軍艦島・鳥瞰図 西山卯三画>